

# 新清水庁舎 建設検討通信



現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況についてお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

## 「新清水庁舎建設基本計画（案）」を提示し、 検討委員会でご議論いただきました。

11月29日(木)に、平成30年度第5回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催しました。

**報告** ◆前回の議論のまとめ 第4回検討委員会が出た意見とその対応状況を報告しました。

協議事項

◆【新規】新清水庁舎建設基本計画（案）について

・これまでの議論をもとに作成した「新清水庁舎建設基本計画（案）」を提示しました。この計画（案）には、庁舎建設を進めるうえで基本的な事項となる次の内容が書かれています。

■第1章  
「基本理念・方針・導入機能」

基本構想で策定した「基本理念・基本方針」を達成するための具体的な「導入機能」について。

■第2章  
「施設計画」

「新庁舎に配置する部局」やそれに伴う「階層構成・規模」、土地をどのように活用していくかという建物などの「配置計画」、防災面を考慮した建物の「構造・設備計画」、「景観づくりの方向性」について。

■第3章  
「事業手法」

PFI手法（※公共施設の設計・建設や維持管理・運営を民間の資金やノウハウを使って効率的に行う手法のこと）で今後の庁舎建設・維持管理を進めていくことや、敷地内に民間施設を誘致することについて。

### 委員から出た主な意見

・港と海で発展してきた清水の歴史を考えると、海から逃げずに清水のまちづくりをリードしていく庁舎になっていくことを願う。

・この事業がまちを再生させる事業であり、未来への投資であるという市の意思を明確にしてほしい。

・今後の働き方、行政サービスの提供方法、街中の空き店舗の活用も含め、踏み込んで、庁舎規模のコンパクトさを追求してほしい。

・導入機能（第1章）は、非常に現実的になり、納得いくレベルにまで仕上がってきた。

・今回の計画のポイントは、ピロティや緊急避難用デッキなどを防災対策のためだけに造らず、日常的に使えるように計画し、災害対策と平時の利用を両立させている点だと思う。

・県が防潮堤の計画も進めていると思うが、県、市が共に協力し合い、万が一の時でも津波浸水深さがさらに低減するよう、引き続き検討してもらいたい。

・何十年も残る庁舎なので、子供・孫の世代のこともよく考えて、財源計画を慎重に検討してほしい。

### 今後の予定について

■パブリックコメント（市民意見の提出手続）の実施について

下記の期間に、新清水庁舎建設基本計画（案）への意見を募集します。清水区の皆さまの元には、「広報しずおか1月号」と共に「パブリックコメントのリーフレット」を世帯配布させていただきますので、ぜひご意見をお寄せください。意見応募用紙や詳しい資料は、お近くの生涯学習交流館、各区の地域総務課やホームページ等に配架する予定です。

期間：平成30年12月21日（金）～平成31年1月21日（月）必着

■第6回新清水庁舎建設検討委員会

平成31年1月下旬 実施予定 ※決定次第ホームページ等で公表します。

### あなたのご意見・ご感想をお寄せください

議事録や資料を各区役所に設置するほか、ホームページへも掲載していますのでそちらも併せてご覧ください。清水庁舎のあり方についてのホームページ [http://www.city.shizuoka.jp/153\\_000026.html](http://www.city.shizuoka.jp/153_000026.html)

静岡市企画局アセットマネジメント推進課

電話：054-221-1167 FAX：054-221-1295 E-mail：asset-suishin@city.shizuoka.lg.jp

